

「教育研究」に関する研究紀要の作成にあたって

島根県立浜田教育センター

研修・相談スタッフ研修セクション

指導主事 立石 祥美

島根県立浜田教育センター研修・相談スタッフ研修セクションでは、「専門職としての教師の教育観を確立し、専門的知識と指導力の向上を図るために、島根県教職員研修体系に基づいて研修を推進する」ことを業務として、教員の初任者研修や経験者研修などの悉皆研修や研修講座等の企画・運営や、各種研究会等への研究支援を行っている。

「研修」とは「研究と修養」を意味する。教員はその職務の性質上、研究や修養を行うことなしに職務を行うことはできない。学校現場内外においては、修養は言うに及ばず、研究的な活動は日常的に行われている。

しかし、悉皆研修や研究会などにおいて、改めて研究を求められる際に、研究テーマの設定や進め方・まとめ方に迷う場合も少なくない。学習指導や生徒指導、進路指導など多岐に渡る職務にあって、研究そのもののあり方について体系的に整理する機会は持ちにくく、多くが個々の解釈のもとに研究を進めているのが実情である。その結果、成果が充分にあげられず、研究担当者に疲労感のみが残ったという状況が見られる場合もある。またそれは、教育活動における最小単位の研究物とも言われる学習指導案作成についても同様である。

研修セクションスタッフとして関わった様々な研究活動の実態から、実際的な研究の進め方や考え方を例示することで、研究活動を行う際の一助となるのではないかと考えた。

研究については、既に多くの優れた文献が存在する。また、研究について熟知し成果をあげている教員も多い。

本書は、研究について書かれた文献を、現在の研究活動の実態と照らし合わせて読み解き、改めて研究のあり方を整理したいと考える教員を対象に、研究前のウォーミングアップとなる内容にまとめたものである。

どこから見ても、また、関心や必要のあるところだけでも読むことのできる内容になっている。学校や教員個々の実態に合わせて応用・活用されたい。

本書が学校における研究活動に向けての助走となり、ひいては教育観の確立及び専門的知識と指導力の向上に資するものとなるよう願う。